

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター外科 職位・氏名 助教・前田 徹也

### 【研究の目的】

体に対する影響が少ない(低侵襲)といわれている腹腔鏡下手術は、消化器領域において近年適応が拡大され、対象となる方が増加しています。肝臓領域においても同様であり、保険診療の一つとして腹腔鏡下肝切除術が施行されています。一方、本邦では本格的な高齢化社会を迎え手術対象年齢が高齢化しており、循環器や呼吸器などの重要臓器疾患を併存した手術患者も増加しています。そのような重要臓器疾患を併存した、いわゆるハイリスクな方々にも腹腔鏡下肝切除術が安全に施行可能か、いまだ十分な議論がなされていません。そこで東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科では、ハイリスク症例に対する肝切除全体の安全性について、さらに腹腔鏡下肝切除術の安全性、妥当性について、検証することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、腹腔鏡下肝切除術の根治性に加え低侵襲性が加味されることで、さらに有用な術式として良質な医療を提供できることにつながります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 1993年1月～2020年12月までに、東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科において、腹腔鏡下もしくは開腹肝切除を受けられた方

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 年齢、性別、身長、体重、併存疾患の有無、疾患、手術内容、術後経過など

試料: 血液検査結果、ドレーン排液検査結果、画像検査結果など

### 【研究組織】

代表施設名: 消化器センター外科 研究代表医師: 前田 徹也 役職: 助教

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター外科

職位・氏名 助教・前田 徹也

電話 03-3762-4151 内線 6530